

身近な要求を取り上げ実現を求めました

引き続き力を合わせましょう



中原ひろみ【南区】
890-2266

●専用カーリング場の整備を！

平昌オリンピックで銅メダルを獲得したカーリングの人気は高まり、体験会に多くの希望者がありますが、広島市内にはカーリングの専用施設がありません。

現在は10月～3月の半年間、ビッグウェーブの小アリーナで毎週金曜日の21時～23時に練習するしかありません。

体験した子どもたちには大人気ですが、深夜の練習では続けることができず、体験会が普及につながっていません。とても残念なことです。

ビッグウェーブの製氷やプールへの転換費用が毎年、約3,300万円も必要になっていることを指摘し、この経費があれば専用・通年のカーリング施設の整備費が捻出できるとして、市内へのカーリング専用施設の整備を求めました。



近松さと子【中区】
221-0708

●子育て世帯 国保料の引き下げを！

子どもが増えれば保険料が上がるという国民健康保険の特別な仕組みは、サラリーマンなどの健康保険にはないものです。

市として他都市のような子育て世帯の独自の軽減策をおこなうべきと求めました。

これに対して市は、県内で統一した制度にすべきと、市独自の制度を設けることに背を向けました。

●軽度者の生活援助は有資格ヘルパーで！

市が独自で新たに始めた基準緩和型訪問介護サービスは、報酬が8割に下げられました。そのため大手が参入せず、中小事業所の負担を増やしています。

市は、新たに資格を必要としない生活援助員を養成し、奨励金を出しますが、確保できるかどうかわかりません。

軽度者の重度化を防ぐためには、資格のあるヘルパーが必要です。そのために事業所の経営安定を求めました。



中森辰一【西区】
293-3563

●筋が通いません 企業立地促進補助金

企業立地促進補助金は新年度は46億円。これまで市は、民間企業が開発した用地を早く売るために、117企業に累計143億円も税金をつぎ込んできました。

なかには、五日市地区の民間給食センターのように、必ず立地する企業にも補助します。まさに税金の無駄づかいの典型で、中止すべきです。

●中小企業振興条例で地域の活性化を

県が中小企業・小規模企業振興条例を制定しました。この中には、広島市など県内の市町との連携・協力もうたわれています。

県内の中小企業・小規模企業の4割が広島市内にあります。

広島市が中小企業・小規模企業振興に積極的役割を果たすためにも独自の条例が必要です。



広島市学校給食・食育フェイスブックページより



藤井とし子【安佐南区】
847-0170

●デリバリー給食はやめ 自校調理の完全給食に

福山市では中学校給食を開始するにあたり、デリバリー給食方式は「安全安心の温かい給食」「食育の推進」という市の基本方針に合わないので採用しなかったことを紹介。

残食率も高く、申し込み率が激減している広島市のデリバリー給食を、学校給食本来の食教育に最も有効な直営・自校調理方式の完全給食に変えるよう求めました。

市は中長期的な視点で研究していきたいと初めて答えました。

●35人学級を中学2・3年生に拡大を！

教員が一人ひとりの子どもに寄り添える教育環境を整えることが、いじめ・不登校問題等の解決につながります。現在中学1年生まで実施している35人学級を、早期に中学2・3年生まで拡大することを求めました。



村上あつ子【東区】
261-5116

●多文化共生の まちづくりを

市営住宅の入居者間で言葉が通じないことから様々なトラブルが絶えない実態があります。

庁内の関係部局が連携して通訳を派遣するシステムの構築を要望。

通訳の増員と、対応する外国語を増やすことも合わせて要望しました。

●温水洗浄便座の普及を！

一般家庭への温水洗浄便座の普及は8割を超えています（2人以上の世帯）。

地下街シャレオは17年度、国の補助金も使って全便座を温水洗浄便座に取り替え、利用者から歓迎されていることを紹介。

河岸緑地や公園の公衆トイレ、ピースツーリズム（国内外からの来訪者にヒロシマの被爆の実相を伝え、来訪者と市民が平和への思いを共有する）のルート上の店舗などから、普及を拡大していくことを求めました。

その他 取り上げた要望を紹介します

- 高齢者公共交通費助成は元の年6,000円に戻し、敬老バスとしてさらなる増額を図ること。
- 高齢者や障がい者などの要配慮者の「住まいの確保」を容易にするため、民間住宅の家賃を補助すること。
- 生活保護費の引き下げはやめるよう国に言うこと。基準の見直しは、低所得者ではなく一般世帯の消費動向と比較するやり方に戻すこと。
- 子どもの医療費助成事業は、通院も中学3年生まで拡充すること。新たに設けた所得基準での自己負担は廃止すること。
- 小学校の新学習指導要領の全面実施（2020年）に向けて、教師が英語研修を十分に受けられる体制を整備するとともに、ALT（外国語指導助手）をはじめ教師を増員すること。
- 市立大学の学生に、小学校3・4年生の英語活動や、小学校5・6年生の「英語科」の授業支援に協力してもらう仕組みを検討すること。
- 高速5号線二葉山トンネルの工事に当たって、現在定置計測しているデータを含め、トンネル掘削時のマシン先端のボーリングデータ等、計測資料はすべて公開すること。

- かき船「かなわ」が“船舶”であるためには、定期的に離岸することが条件である。離岸するよう「かなわ」に指示すること。
- 急傾斜地崩壊防止対策未整備箇所の早期対策を進めること。
- 八木・緑井の雨水管渠整備事業に当たっては、地元住民の理解を得ながら安全面に配慮すること。
- スポーツセンターのプールのロッカー料金100円をリターン式へと見直し、利用者の負担を軽減すること。指定管理者の減収分は、市が補てんすること。
- ふくしま第二保育園は、今後必要であり、廃園方針は撤回すること。
- 市内の中小企業、小規模企業、零細企業、事業所のすべてを対象に、実態を詳細に把握する取り組みを行うこと。
- イノシシ対策の柵の設置について、住民に補助金を周知し、丁寧に対応すること。
- 安芸区矢野駅前に早期に信号機を整備し、地域の安心・安全を確保すること。



よかったね

- ▼**就学援助制度**▼
小学校の2019年度入学者から新入学学用品費等が入学前に前倒しして支給されます。
17年度から中学校の入学準備金の前倒し支給が実現しており、小学校も同様に支給するよう要望していました。
- ▼**学校トイレの洋式化実現**▼
市は、18年度から3か年計画で公立小学校・中学校・高等学校と幼稚園の校舎の便器の半数を洋式化することを公表しました。
これで児童が排せつを我慢することも無くなります。
- ▼**4月から冷凍パンが解消！**▼
民間の給食センターが佐伯区内の28の小中学校に納入していたパンが「べたつく」などの苦情を取り上げ、改善を求めています。これは熊本県から冷凍して運んでいたもので、4月からは市内のパン業者に変更されることになりました。

